

はしど

平成29年 9月 1日
学校便り 第5号
練馬区立橋戸小学校
校長 河崎 晃二
<http://www.hashido-e.nerima-kyo.jp/>

☆学校教育目標 考える子・思いやりのある子・たくましい子

失敗から学ぶこと

校長 河崎 晃二

42日間の長い夏休みが終わり、学校に子供たちの笑顔が戻ってきました。今年は、例年にない長雨にみまわれましたが、ご家庭ではいかがお過ごしになられたでしょうか。子供たちに大きな病気や事故等なく、2学期始業式が迎えられたことを本当に有り難く思います。保護者の皆様や地域の皆様のご指導や見守りに感謝申し上げます。

ところで、保護者の皆様は、自分のお子さんが失敗した時どのように対応しているでしょうか。私が以前聞いた話では、次のようでした。

「子供たちが失敗をしたときにどうしますか」という質問に、多くの保護者の方は、「注意をする」、「やり直しをさせる」と応えるそうです。さらに、「失敗を繰り返したらどうしますか」という質問にも、「繰り返し注意をする」「繰り返しやり直しをさせる」、そして「できないことを怒る」と応える方が多かったそうです。「では、なぜ、そのような対応をするのか」と質問すると、「言えば分かると思っているから」「次はできると思っているから」と、多くの保護者の方は考えているそうです。

親としては、何とかして直して欲しいと考え、注意したり怒ったりしますが、子どもの立場から考えると、注意されたり怒られたりするばかりではやりきれません。では、どうすればよいのでしょうか。

失敗を悪いこと、恥ずかしいことと思わないこと、できない時も諦めずに継続すること、失敗を恐れずに新しいことに挑戦することなどを、温かくサポートしていくことです。ご家庭でも、失敗した時を大切にして、失敗をどう乗り越えていくか、温かい声かけをしてください。

失敗は、学びの大きなチャンスです。失敗を繰り返すことが、生きる力を高めてくれます。大事なことは、失敗を回避することではなく、失敗を乗り越えていくことです。乗り越えた経験が自信につながります。失敗を味わわせたくないと思えば過保護になることで、子供はどんどんひ弱になっていきます。失敗しないように先回りして守ることで、失敗を恐れる子になっていきます。失敗を恐れていたなら、思い切ってチャレンジができません。失敗から学ぶこともできないし、自分で困難を乗り越える経験もできません。

学校でも、安心して失敗することや、できなくても努力を続けること等を励まされる環境を作るよう努力しています。また、互いに理解し認め合うことや、フォローすることが自然とできるような集団を育成していきます。そして、ある程度の判断を子供たちに任せながら、共に学び高め合う関係を築いていきたいと考えています。

2学期は大きな行事がたくさんあります。今学期も橋戸小学校の教育に、ご協力をよろしくお願いいたします。

